

ビデオカメラ三脚

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 安全のための注意事項を守らないと、人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VCT-2200RM


警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、転倒などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口**に修理を依頼する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、転倒やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号




指挟み

行為を指示する記号



強制

 **注意** 下記の注意事項を守らないと、**けが**をすることがあります。

開脚してからビデオカメラやカメラを取り付ける

脚を閉じたまま取り付けると、転倒してカメラを破損したりけがの原因となることがあります。



強制

重量制限を守る

重量制限を超えると、不用意に倒れたりしてけがの原因となることがあります。



強制

脚の出し入れには充分注意をはらう

注意を怠ると指をはさむ恐れがあります。



指挟み

目次

| | |
|---------------------|-----|
| 安全のために | 2 |
| 主な特長 | 3 |
| 各部のなまえ | 4 |
| 三脚を立てる | 5 |
| ビデオカメラを取り付ける | 7 |
| パンニング/ティルティング | 9 |
| リモコンで操作する | 10 |
| 三脚をたたむ | 11 |
| 使用上のご注意 | 11 |
| 主な仕様 | 裏表紙 |
| 保証書とアフターサービス | 裏表紙 |

主な特長

この三脚は家庭用/業務用ビデオカメラなどにお使いいただける、リモコン機能付き三脚です。

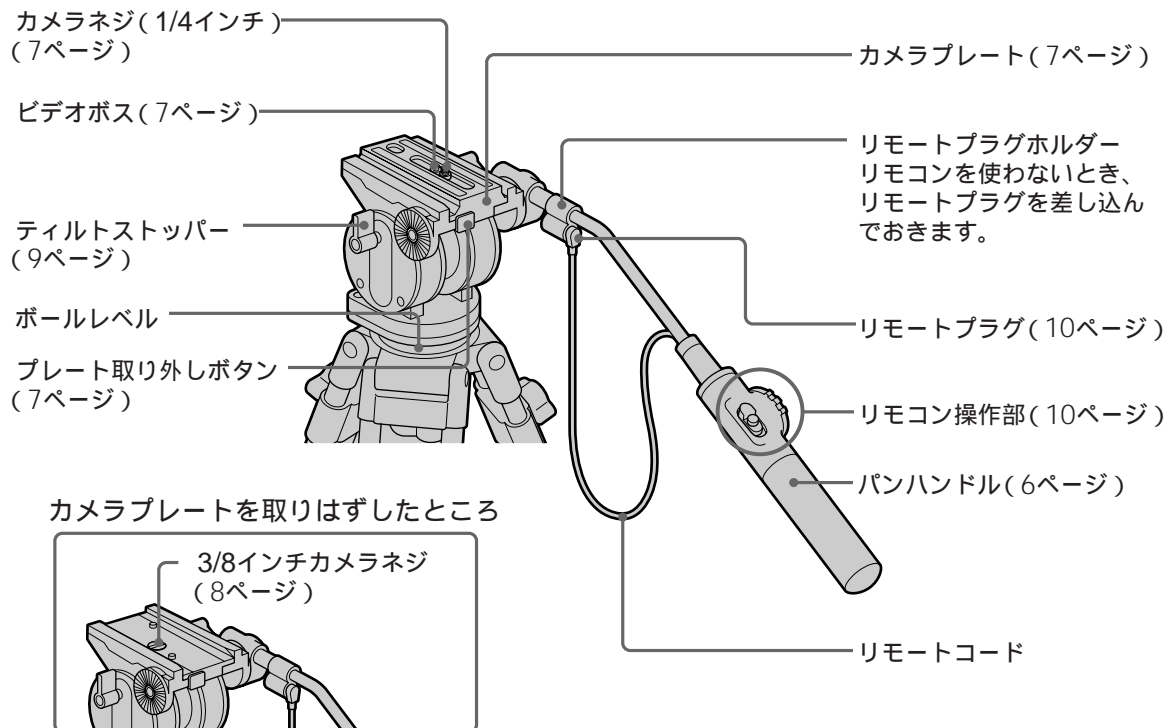
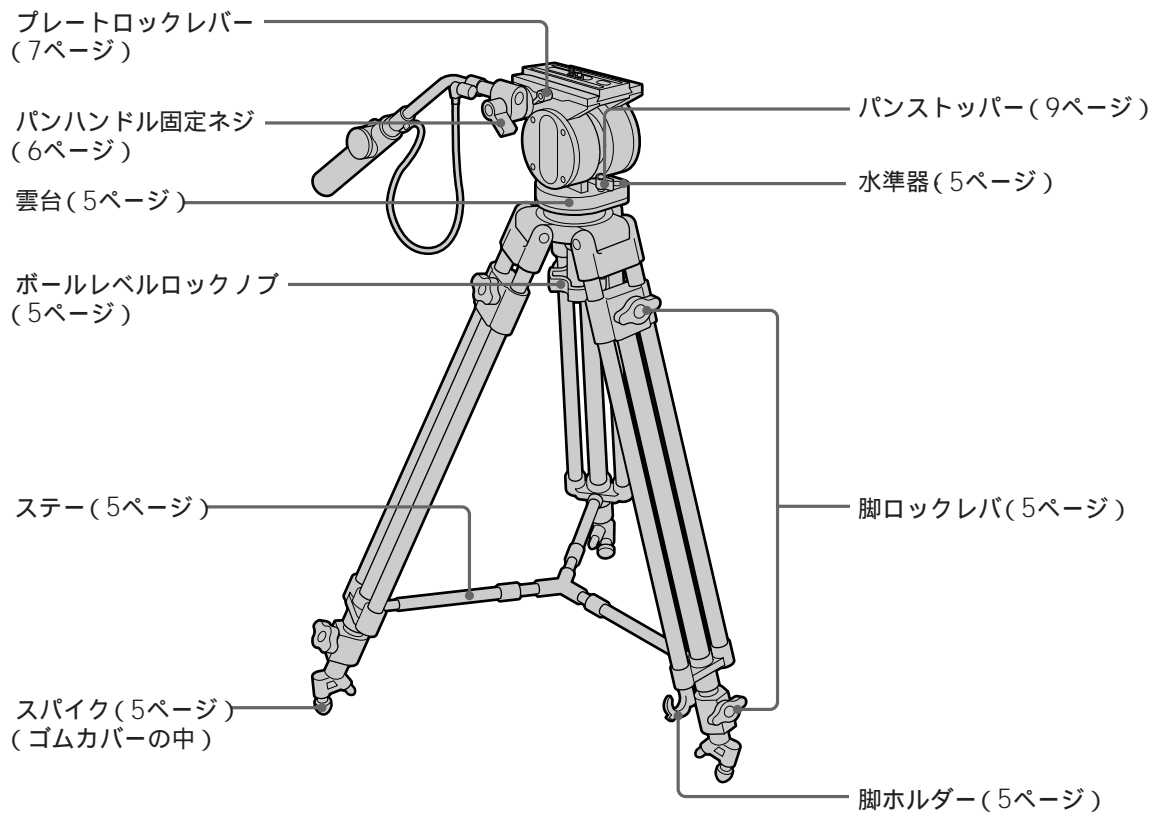
- パンハンドルに付いているリモコンで、ソニーのビデオカメラを操作(スタンバイ/ロック、スタート/ストップ、ズーム)できます。
- ボールレベラー方式ですので、正確な水平出しがすばやくできます。
- 油圧式パンハンドルですので、パン/ティルトを滑らかに行えます。
- 内蔵スプリングによるカウンターバランス機能により、ティルト角にあわせて安定したバランスを自動調整します。
- ワンタッチスライド式プレートですので、重心のかたよりのないバランスが実現します。
- 目盛り付き伸縮可能タイプのステーですので、傾斜地などでも脚の傾きや幅を自在に調節できます。



この純正マークは、ソニー(株)のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。ソニー(株)のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

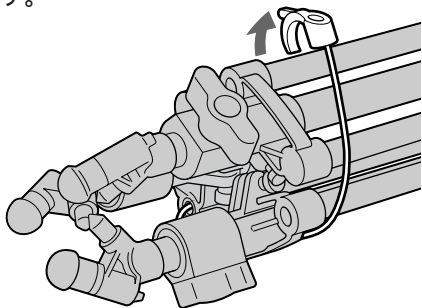
各部のなまえ

使いかたの説明は、()内のページにあります。

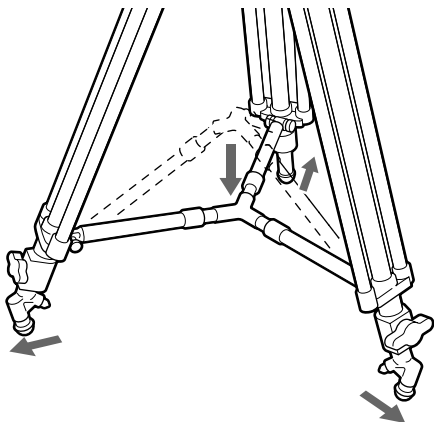


三脚を立てる

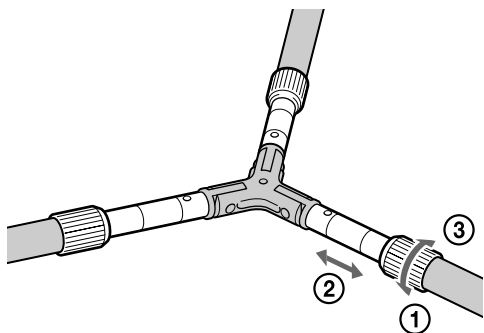
- 1** 脚ホルダーをはずす。
脚ホルダーのロープは自動的に脚の中に入ります。



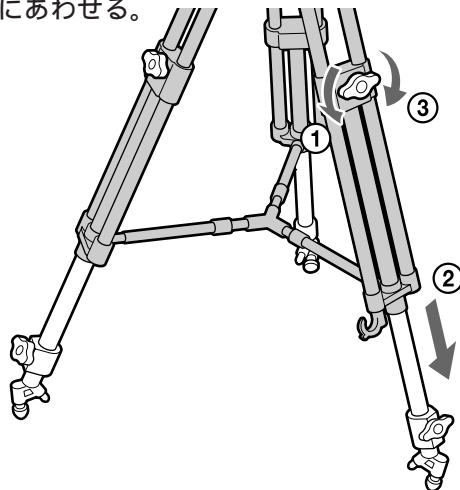
- 2** 脚を広げ、ステーを押し下げる。
ステーに無理な力を加えないようにしてください。破損する恐れがあります。



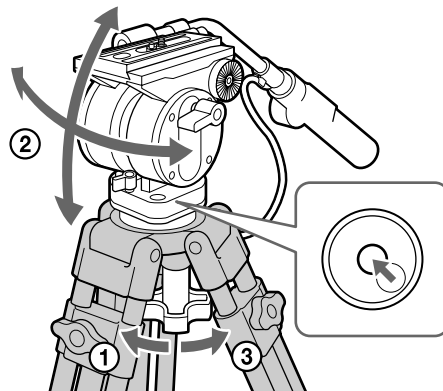
- 3** ステーの長さを調節する。
目盛りを目安にして調節します。
- ① ロックネジをゆるめる。
 - ② 長さを調節する。
 - ③ ロックネジを締めて、固定する。



- 4** 脚を希望の長さにして、固定する。
はじめは、上側の脚ロックレバーをゆるめて脚を引き出し、固定します。高さが足りないとき、下側の脚を引き出します。
- ① 脚ロックレバーをゆるめる。
 - ② 脚を引き出す。
 - ③ 脚ロックレバーをまわしてLOCKの位置にあわせる。



- 5** 水平を調節する。
カメラを取り付ける前に行ってください。
- ① ボールレベルロックノブを少しゆるめる。
 - ② 水準器の中の気泡が赤い円に入るように、雲台を動かす。
 - ③ ボールレベルロックノブを締める。

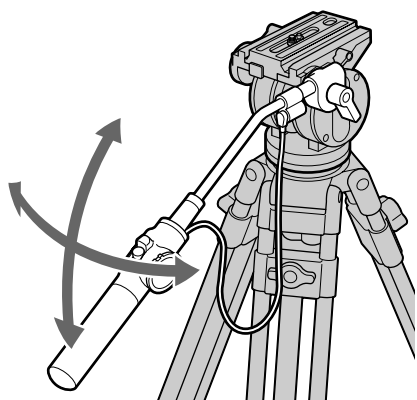


スパイクを使うには
スパイクのゴムカバーをはずします。スパイクが床に傷をつけるおそれのある場合は使わないでください。

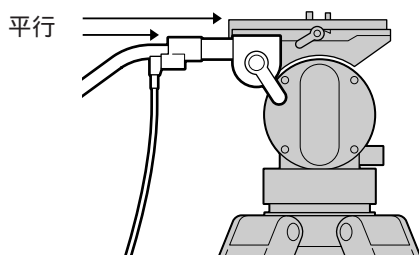
三脚を立てる(つづき)

パンハンドルの位置を調節する

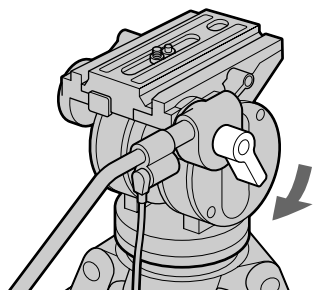
1 使いやすい位置にする。



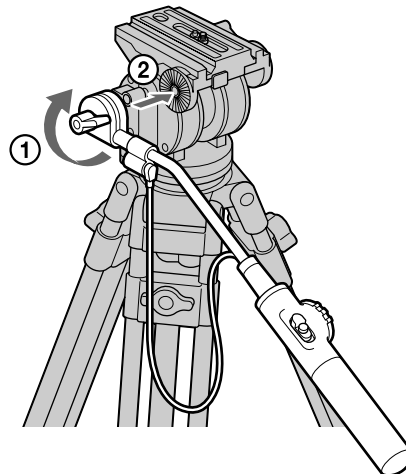
通常はカメラプレートに平行になるようにします。



2 パンハンドル固定ネジを締める。



左側にパンハンドルを取り付けるにはパンハンドルの取り付け部分を回転させて取り付ける。



ビデオカメラを取り付ける

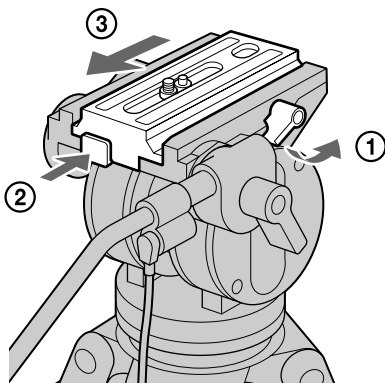
取り付けられるのは重さ8kg以下のビデオカメラです。重量制限を超えるビデオカメラは取り付けないでください。

取り付ける前の準備

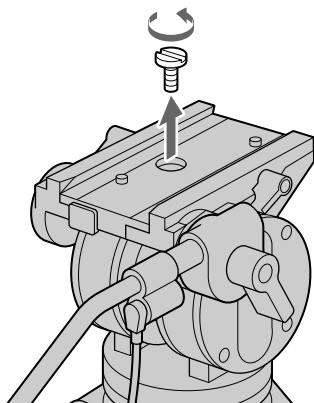
1 ビデオカメラにバッテリーやカセットを入れる。

2 三脚のカメラプレートを取りはずす。

- ①プレートロックレバーをゆるめる。
- ②プレート取り外しボタンを押しながら、
- ③カメラプレートを抜き取る。

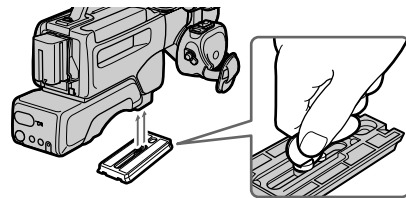


業務用ビデオカメラ(DSR-200など)を三脚アダプターを使って取り付ける場合は、三脚から3/8インチカメラネジを取りはずす。



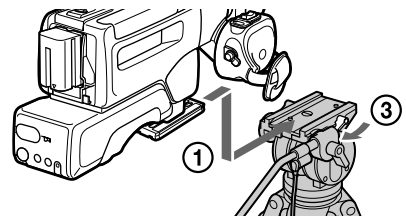
家庭用ビデオカメラを取り付けるとき

1 ビデオカメラにカメラプレートを取り付ける。
カメラプレートのビデオボスとカメラネジを、それぞれビデオカメラの穴に合わせ、カメラネジをしっかりと締め、ガタつきがないことを確認してください。



2 ビデオカメラを三脚に取り付ける。

- ①ビデオカメラのハンドルを持ち、三脚の雲台を支えながら、カメラプレート部分を三脚に水平に差し込む。
カチッと音がするまで差し込んで、手前に抜けないことを確認してください。
ななめに差し込むとカメラプレートが正しく取り付けられなかったり、変形することがあります。
- ②カメラプレートの目盛りを目安にして、ビデオカメラを前後に動かしてバランスを取る。
前後に各40ミリメートル動かします。
- ③プレートロックレバーを締めて固定する。



はずすときは

- ①ビデオカメラのハンドルを持ち、三脚の雲台を支え、プレートロックレバーをゆるめてプレート取り外しボタンを押しながら、カメラプレートごとビデオカメラを取りはずす。
ビデオカメラのグリップが三脚にぶつからないように注意してください。
- ②ビデオカメラからカメラプレートを取りはずす。
- ③カメラプレートを三脚に差し込む。

ビデオカメラを取り付ける(つづき)

業務用ビデオカメラを取り付けるとき

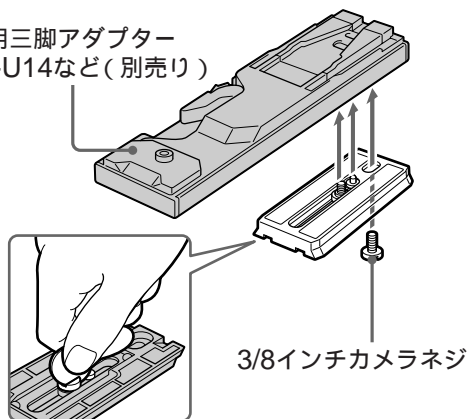
業務用ビデオカメラ(DSR-200など)は、別売りの業務用三脚アダプターを使って取り付けると、ビデオカメラのみを簡単に三脚からはずすことができ便利です。

家庭用ビデオカメラのように三脚アダプターを使わずに取り付けることもできます。7ページをご覧ください。

1 三脚アダプターにカメラプレートを取り付ける。

カメラプレートのカメラネジと、三脚から取りはずした3/8インチカメラネジを、それぞれ三脚アダプターの穴に合わせ、しっかりと締める。

業務用三脚アダプター
VCT-U14など(別売り)

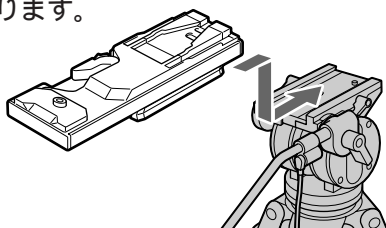


2 三脚アダプターを三脚に取り付ける。

カメラプレート部分を三脚に水平に差し込む。

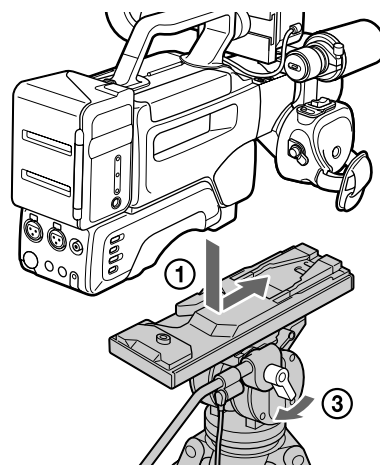
カチッと音がするまで差し込んで、手前に抜けないことを確認してください。

ななめに差し込むと、カメラプレート部分が正しく取り付けられなかったり、変形することがあります。



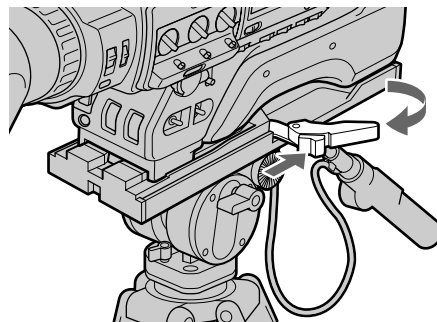
3 三脚アダプターにビデオカメラを取り付ける。

- ①ビデオカメラを三脚アダプターの溝に沿って、カチッと音がするまで前方にスライドさせる。
- ②ビデオカメラを前後に動かしてバランスを取る。
- ③プレートロックレバーをしめて固定する。



はずすときは

- ①三脚アダプターからビデオカメラを取りはずす。三脚アダプターの赤いボタンを押しながら、レバーを矢印方向に動かして、ロックをはずします。

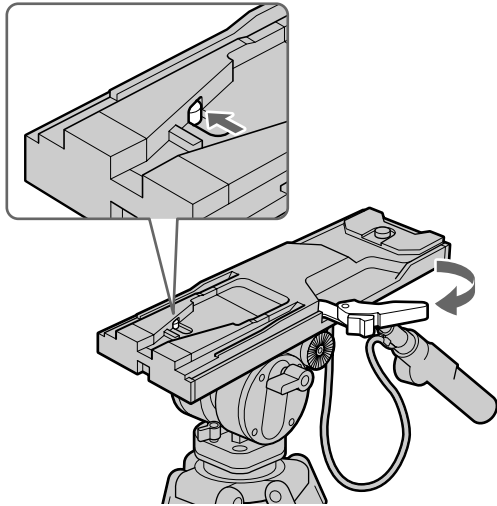


- ②プレートロックレバーをゆるめてプレート取りはずしボタンを押しながら、三脚からカメラプレートごと三脚アダプターを取りはずす。
- ③三脚アダプターからカメラプレートを取りはずす。
- ④カメラプレートを三脚に差し込む。

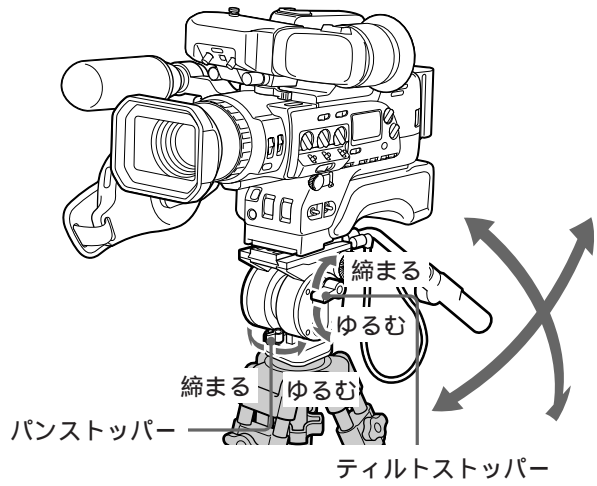
パンニング/ ティルティング

ご注意

- ビデオカメラを取り付けた状態では、脚ロックレバーに触れないように注意してください。
- プレートロックレバーをゆるめた状態では、ティルティングは行わないでください。ビデオカメラが落ちることがあります。
- 三脚アダプターをお使いの場合、ビデオカメラを取りはずしたあと、三脚アダプターのピンが元の位置に戻っていないと、ビデオカメラの取り付けができません。赤いボタンを押しながらレバーを矢印の方向に動かして、ピンを元の位置に戻してください。



- 三脚アダプターにカメラプレートを取り付ける位置は、バランスの良いネジ穴を選んでください。



パンニング

パンストッパーをゆるめ、パンハンドルを左右方向の希望の位置に動き、パンストッパーを締めて固定します。

ティルティング

ティルトストッパーをゆるめ、パンハンドルを上下方向の希望の位置に動き、ティルトストッパーを締めて固定します。

ご注意

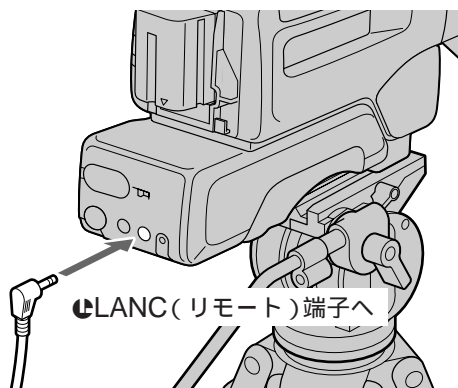
パンストッパーやティルトストッパーをトルクの重さ調節には絶対に使用しないでください。故障の原因となります。確実にストッパーをゆるめてから、パンニング/ティルティングをしてください。

リモコンで操作する

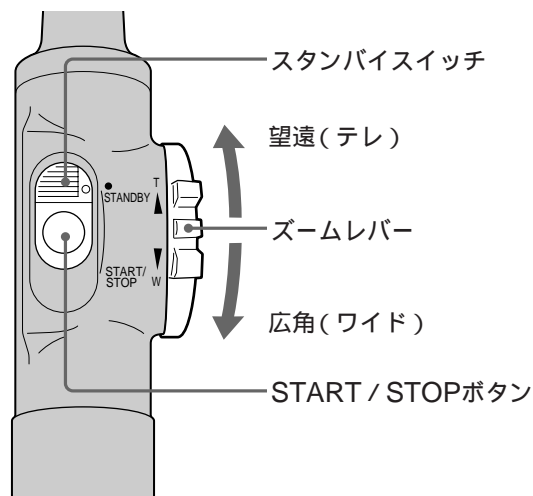
お手持ちのビデオカメラの取扱説明書も合わせてお読みください。

準備

- 1 ビデオカメラを準備する。
①POWERスイッチを「ON」にして、CAMERA/VTRスイッチを「CAMERA」にする。
②スタンバイ状態にする。
- 2 リモートプラグをビデオカメラのLANC(リモート)端子に接続する。



リモコンで撮影する



- 1 スタンバイスイッチをカチッと音がするまでずらして「STANDBY」にする。
- 2 START/STOPボタンを押す。撮影が始まります。

止めるときは

START/STOPボタンを押す。
スタンバイ状態になります。

ズームする

ズームレバーを回す。

T側(望遠): 被写体が大きくなる。

W側(広角): 被写体が小さくなる。

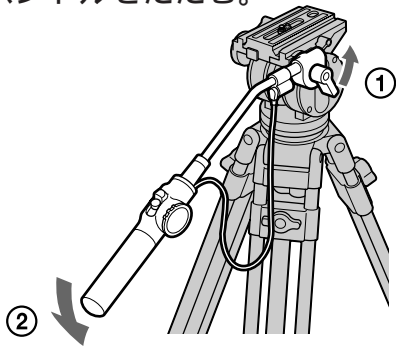
お手持ちのビデオカメラによっては、ズームレバーをT側(望遠)やW側(広角)にさらに動かすと速くズームングします。

撮影が終わったら

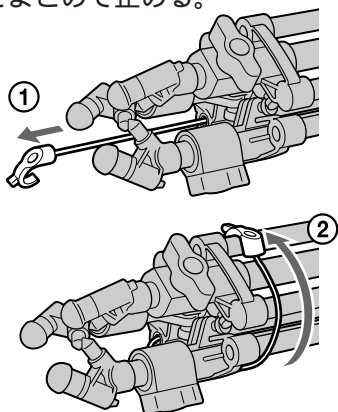
必ずリモコンのスタンバイスイッチをカチッと音がするまでずらして「LOCK」にする。

三脚をたたむ

- 1 ビデオカメラをはずす。
- 2 2本の脚で支えながら、1本の脚を縮める。
- 3 1本の脚で支えながら、次の脚を縮める。
- 4 ステーの長さを3本とも同じ長さにする。
長さがちがうままたたむと、脚を破損することがあります。
- 5 ステーをたたんで脚を閉じてから、最後の脚を縮める。
- 6 パンハンドル固定ネジをゆるめて、パンハンドルをたたむ。



- 7 脚ホルダーで脚を固定する。
①フック部分を引いて脚ホルダーを引き出す。
②3本の脚をまとめて止める。



使用上のご注意

リモコンについて

撮影が終わったら、必ずスタンバイスイッチを「LOCK」にしてください。「STANDBY」にしておくとビデオカメラのバッテリーが消耗します。

ビデオカメラを取りはずすときは

必ずビデオカメラを持ってはずしてください。

持ち運びについて

使い終わったら、必ずビデオカメラを三脚からはずしてください。ビデオカメラを取り付けたままで持ち歩かないでください。

お手入れについて

- 汚れたら、やわらかい布に中性洗剤溶液を含ませて拭いてから、乾いた布でから拭きしてください。
- 海岸など、潮風のあたる所で使用した後は、乾いた布でよく拭いてください。

主な仕様

| | | |
|----------|---|----------------------|
| 積載カメラ質量 | 4～8kg | |
| パンニング角 | 360度 | |
| ティルティング角 | 前傾90度、後傾90度 | |
| リモコン機能 | スタンバイ/ロックスイッチ、スタート/ストップボタン、ズームレバー(ワイド/テレ) | |
| 外形寸法 | 開脚総伸長 | 約1505mm (開脚角度20度) |
| | 開脚縮長 | 約770mm |
| | 最大開脚縮長 | 約702mm (開脚角度33度) |
| | 閉脚縮長 | 約815mm |
| | リモートコードの長さ | 約320mm |
| | パンハンドルの長さ | 約380mm |
| 質量 | 約5kg | |
| 脚段数 | 3段 | |
| 付属品 | キャリングケース(1個)、取扱説明書、保証書(1部)、ソニーご相談窓口のご案内(1部) | |

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書と アフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：VCT-2200RM
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111